



舟形町

縄文の女神と若鮎の里
Funagata Town

Funagata Town
Disaster Prevention
Hazard Map



防災ハザードマップ

自分の命は自分で守る「自助」、地域の安全は地域で守る「共助」、行政が行う防災対策である「公助」で災害に強い町へ。



防災ハザードマップとは？

洪水や土砂災害の危険がある地域と避難所を示したものです。洪水や土砂災害が発生した際に、自宅・職場・学校の周辺や避難所までの経路上に危険がないか、どのようになるのかを事前に確認しておきましょう。なお、防災ハザードマップはあくまでも想定図です。また、最上川、最上小国川、ため池の浸水想定区域を示しており、すべての小規模河川、農業用水路、側溝の浸水に係る情報は入っていません。雨の降り方や土地の状態によっては、地図に示された区域以外でも洪水や土砂災害が発生することがありますので、十分に注意してください。

「災害に備える」



近年、地球温暖化などの影響で、予想を超える災害が、世界規模で発生しています。東日本大震災以降も、土砂災害等をはじめ、地震、豪雪、火山噴火、河川の氾濫など、自然災害は全国各地で発生し、その被害は甚大で、多くの尊い人命が奪われています。

本町でも、平成30年8月の2度にわたる豪雨災害、令和元年10月の台風19号、令和2年7月の豪雨災害等、毎年のように災害が発生しています。

「自分は大丈夫」という思い込みをすて、いつどこで発生するかわからない災害に備えて、町民自らそして地域の町民同士が、災害の知識や経験を持ち寄り、助け合うことで、災害が発生しても被害を最小限にとどめることができます。

こうした町民や地域における防災・減災対策を促進するため、また災害に強いまちづくりを目指し、この度、「舟形町防災ハザードマップ」を作成いたしました。

防災の基本的な考え方は「自分の命は自分で守る」です。まずは自分の命を守ることが、愛する家族を守ることに繋がります。

このハザードマップは、各家庭・各地区で、各家庭の事情・各地区の条件や地理的状况の下で、より安全に身を守るための参考書です。各家庭・各地区で、実際に避難訓練や非常持出品等、災害に備える準備を整えながら、より良いハザードマップに仕上げてください。そして、このマップを家庭の目の届くところに置いていただき、日頃から災害に備える気持ちを持っていただくと共に、災害の際には自分や家族、地区の皆さんを守って下さるようお願い申し上げます。

令和3年3月
舟形町長 森 富広

目次

防災学習編

町民の皆さまへ・目次	P1
5段階警戒レベルについて	P2
風水害対策について	P3
洪水ハザード情報について	P4
土砂ハザード情報について	P5～P6
地震対策について	P7

防災チェック編

わが家の地震対策&チェック	P8
非常時持出品の準備&チェック	P9

防災情報・避難所情報編

わが家の「防災・緊急情報」メモ	P10
避難行動ガイド	P11
関係機関一覧	P12
避難所・避難場所一覧	P13
防災情報の入手方法	巻末

防災ハザードマップ編

全体図	P14
詳細図 (No.1～No.10)	P15～P34

問い合わせ先

発行:舟形町(住民税務課危機管理室)
 問い合わせ:TEL 0233-32-2111(代表)
 制作・著作:株式会社ゼンリン山形営業所

5段階警戒レベルについて

住民の皆さまが、「自分の命は自分で守る」という意識のもと、自主的な避難を行うために、町では避難情報を5段階の警戒レベルにより提供します。日頃からいざという時に備えて、災害時のとるべき行動の確認をお願いします。



それぞれの警戒レベルに相当する情報を、**早めの避難行動の判断**に役立ててください。
町からの**避難指示等の発令に留意**するとともに、避難指示等が発令されていなくとも**自ら避難の判断**をしてください。
警戒レベル5の状況では災害が発生して避難できなくなることから、**警戒レベル3や4の段階で避難することが重要**です。

水害・土砂災害について、町が出す避難情報を5段階に整理しました。

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	行動を促す情報
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保※1
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~			
4	災害の おそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害の おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない  
 ※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである

## Q&A

質問1) 防災気象情報は出てるけど、避難情報が出ていないときはどうすればいいの?  
 ⇒町は、様々な情報をもとに、避難情報を発令する判断を行うことから、必ずしも防災気象情報と同じレベルの避難情報が、同時に発令されるわけではありません。**自らの命は自ら守る意識を持って、防災気象情報も参考にしながら、適切な避難行動をとってください。**

質問2) 洪水で「警戒レベル4相当情報」が既に出ているなかで、土砂災害で「警戒レベル3相当情報」が出たけど洪水のレベルも4から3に下がったということなの?  
 ⇒洪水の危険性が4から3に下がったわけではありません。洪水は4のままで、土砂災害の3が追加されたものであり、**その地域は洪水と土砂災害、両方の災害を警戒する必要があります。**

【警戒レベル5】では既に災害が発生しています。また、必ず発令されるものではありません。

**【警戒レベル3】や【警戒レベル4】で、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。**

# 風水害対策について

大雨や強風は、わたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。  
ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

## 大雨注意報・警報の発表基準

### 大雨注意報

大雨によって災害が起こるおそれがあると予測される場合。

### 大雨警報

大雨によって**重大な災害**が起こるおそれがあると予測される場合。

### 大雨特別警報

数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、**重大な災害が起こるおそれ**が著しく大きい状況と予想される場合。

## 雨の強さと降り方

(1時間雨量：mm)

### 10～20の雨



地面一面に水たまりができ、話声が聞き取りにくくなります。

### 20～30の雨



土砂降りの雨のときは、傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。テレビやラジオなどで今後の様子を注意し、長引きそうなら避難の心構えをしましょう。

### 30～50の雨



バケツをひっくり返したような激しい雨です。山崩れやがけ崩れが起こりやすくなります。避難の準備をしましょう。

### 50～80の雨



滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。中小の河川は氾濫し、水害発生の可能性が高まります。

### 80以上の雨



息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。

## 風の強さと吹き方

(平均風速：m / 秒)

### 10以上～15未満



風に向かって歩きにくくなります。傘がさせません。

### 15以上～20未満



風に向かって歩けません。転倒する人もいます。

### 20以上～25未満



しっかりと身体を確保しないと転倒します。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れます。

### 25以上～



立ってられません。屋外での行動は危険です。樹木が根こそぎ倒れはじめます。

## 竜巻から身を守る

### 竜巻とはこのような現象です

- 竜巻は、発達した積乱雲に伴って発生する激しい渦巻きです。
- ろうと状や柱状の雲を伴っています。
- 台風、寒冷前線、低気圧などに伴って発生します。
- 短時間で狭い範囲に集中して甚大な被害をもたらします。被害は、長さ数km、幅数十～数百mの狭い範囲に集中します。
- 移動スピードが非常に速い場合があります。過去に発生した竜巻の中には、時速約90km(秒速25m)で移動したものもあります。

### 竜巻の発生時に、よく現れる特徴

- 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなります。
- 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりします。
- ヒヤッとした冷たい風が吹き出します。
- 大粒の雨や「ひょう」が降り出します。

### 速やかに情報を把握するために

- テレビやラジオの気象情報や町からの防災無線などで提供される防災情報に注意してください!



つねに気象情報には、注意しましょう!



## 集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。発生の予測は困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- テレビ・ラジオなどの気象情報に注意する。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

### アンダーパス等冠水危険箇所に注意!

アンダーパスとは、道路や鉄道など立体交差する場合、その下を通る地下道をいいます。大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に浸水してしまいます(普通車の場合、約30cmの浸水で走行が困難)。アンダーパスのある場所では、無理せずに迂回しましょう。また、避難するために歩行者用地下道を通る際は、冠水していないか十分に注意しましょう。**町内には舟形字西ノ前に1箇所、アンダーパスがあります。**

# 洪水ハザード情報について

平成27年の水防法改正に基づき、最上川・最上小国川で浸水想定区域の公表がありました。以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

## 1 氾濫の種類

- 雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、排水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

### 外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増します。最大の注意が必要。



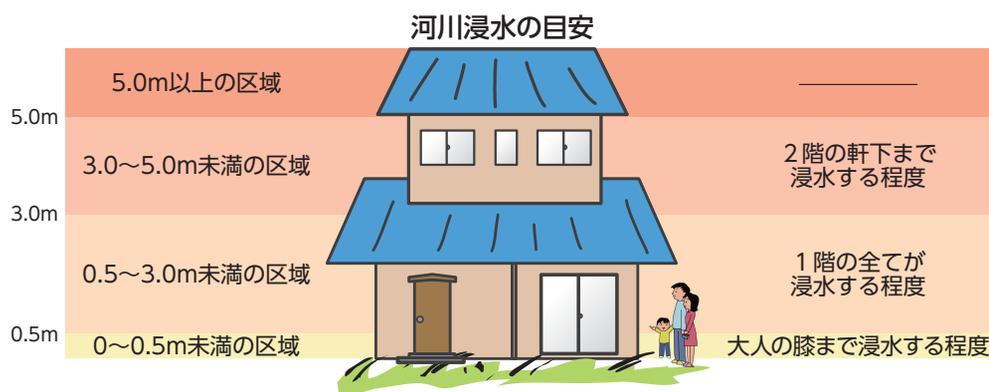
### 内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれずに溜まっておきる洪水。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。



## 2 説明(外水氾濫)

- この「マップ」で使用しているハザード情報は、最上川・最上小国川が、大雨によって氾濫した場合、洪水が想定される区域とその浸水の深さを示したものです。
- 雨の降り方によっては、想定とは異なる浸水深となったり、地図に表示された浸水区域以外でも浸水することがあります。
- 川が氾濫しない場合でも、低い土地などは浸水被害(床上・床下浸水など)が起こる場合があります。十分注意しましょう。



## 3 洪水情報の種類

洪水の危険性が高まった際に発表される情報

### 洪水注意報(気象庁)

- 洪水によって災害がおこる恐れがある場合、その旨を注意する予報。

### 洪水警報(気象庁)

- 洪水によって重大な災害がおこる恐れがある場合、その旨を警告する予報。

### 指定河川洪水予報など

- 最上川については、山形地方気象台の予測する降水量をもとに、河川を管理する新庄河川事務所が河川水位の危険度を予測し、共同発表します。
- 最上小国川は洪水予報河川に指定されており、避難判断水位に達したとき県が「避難判断水位到達情報」を発表します。

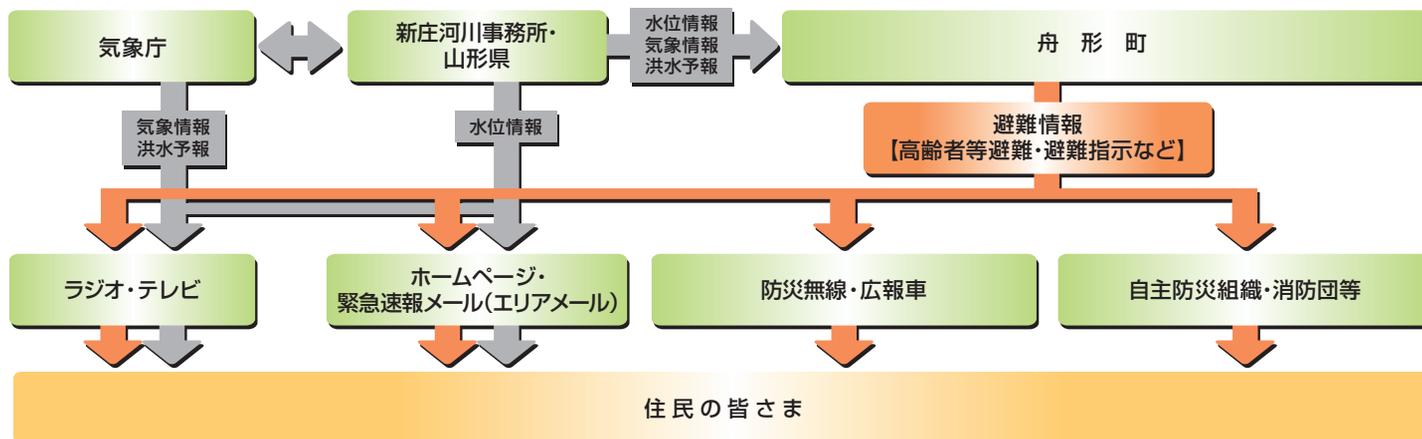
### 水位にともなう判断基準



※基準水位や現況水位は、「山形県河川・砂防情報システム」で確認できます。  
<http://www.kasen.pref.yamagata.jp/>

## 4 洪水情報の伝達ルート(土砂災害情報も同じ)

- 気象の異常に対して、下図の伝達ルートで住民の皆さまへお知らせします。



避難情報の伝達ルートがオレンジ色になります。情報がなくても、異常気象(雷雨や異常な降雨)を感じたときには、避難の準備が必要です。危険を感じたときには、速やかに避難しましょう。

# 土砂ハザード情報について

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気付いた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難してください。日頃から危険箇所、指定避難所、避難経路を確認しておくことも重要です。

## 土砂災害の種類

### がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



- 小石がパラパラ落ちる
- ひび割れが入る
- 木が傾いたり倒れる
- 湧き水が止まる(または吹き出す) など



### 土石流

山腹・谷底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



- 異常な山鳴り・地鳴りがする
- 川の水位が急に下がる
- 急に水が濁る
- 流木が混じる など



### 地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



- 斜面・道路にひび割れ、段差ができる
- 井戸・池・川などの水が濁る など



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

## 土砂災害警戒情報とは

土砂災害警戒情報は、大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度がさらに高まったときに、町長の避難指示等の判断を支援するよう、また、住民の自主避難の参考となるよう、対象となる町を特定して警戒を呼びかける情報で、県と気象庁が共同で発表しています。

土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、特に早めの避難を心がけてください。町からの避難に関する情報に留意するとともに、土砂災害警戒情報を自主避難の参考にしてください。土砂災害警戒情報が発表されたときは、気象庁のホームページの土砂災害警戒判定メッシュ情報で土砂災害発生の危険度が高まっている区域をご確認ください。

### 「山形県土砂災害警戒システム」を活用し避難行動に役立てよう!

土砂災害の多くは、大雨が原因で起こります。1時間に20ミリ以上の強い雨が降ったり、降り始めてからの雨量が100ミリをこえると、土砂災害が起こりやすくなるといわれています。

洪水は、大雨よりも少しおくらせて起こります。

また、がけ崩れなどは雨がやんだあとに起こることもありますので、大雨のあとは何日か注意が必要です。

山形県土砂災害警戒システムは気象庁と情報交換し、現在の気象を分析し災害が発生しやすいエリアを1kmメッシュ毎に色別にて掲載しています。

主な掲載内容は右記のとおりです。

#### ○土砂災害危険度



- 土砂災害危険度
  - 土砂災害発生の恐れ【警戒レベル4相当】
  - 避難開始の目安【警戒レベル4相当】
  - 避難準備開始の目安【警戒レベル3相当】
  - 今後の雨量に注意【警戒レベル2相当】
  - 除外格子

#### ○60分雨量分布



- 60分雨量分布(mm/h)
  - 80-
  - 50-80
  - 30-50
  - 20-30
  - 10-20
  - 5-10
  - 1-5
  - 0-1

#### ○土壌雨量指数分布



- 土壌雨量指数
  - 160-
  - 140-160
  - 120-140
  - 100-120
  - 80-100
  - 60-80
  - 40-60
  - 20-40

### 山形県土砂災害警戒システム

スマートフォンや自宅のパソコンなどから下記ホームページにアクセスし確認することができます。

スマートフォン用：右のQRコードから読み取りアクセスしてください。

パソコン用：<https://sabo.pref.yamagata.jp/>



※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

## 危険箇所内の重要性の高い箇所について

### 特別警戒区域

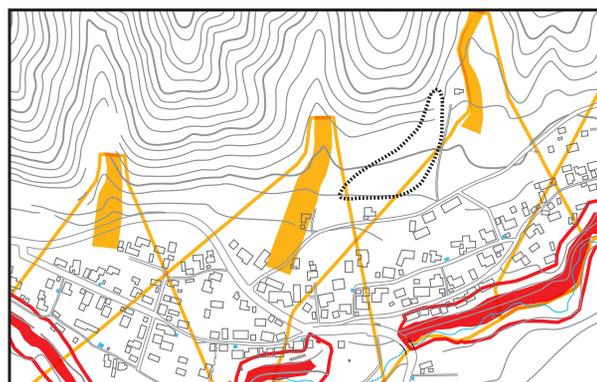
警戒区域のうち土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、一定の開発行為の制限や居室を有する建築物の構造が規制される土地の区域です。

### 警戒区域

土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、警戒避難体制を特に整備すべき土地の区域です。過去の土砂災害による土砂の到達範囲などを勘案して設定されます。

### (凡例)

- 土石流 特別警戒区域
- 土石流 警戒区域
- 急傾斜 特別警戒区域
- 急傾斜 警戒区域
- 地すべり 警戒区域



# 地震対策について 地震発生!そんなときどうする

## 地震発生時の時間経過別行動マニュアル

### 地震発生

#### 最初の大きな揺れは約1分間

- まず、身を守る安全確保 (手近な座布団などで頭を保護)
- 大きな揺れの場合は、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する



#### 揺れがおさまったら

- 火の確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根・ブロック塀・自動販売機等に注意



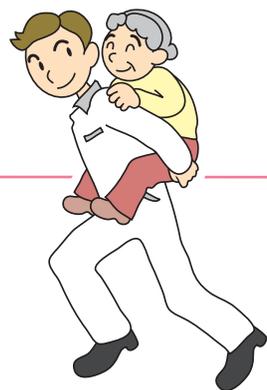
#### みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- |            |                                      |           |
|------------|--------------------------------------|-----------|
| 隣近所に声をかけよう | ●要配慮者の安全確保 隣近所で助け合う                  | ●ケガ人はいないか |
| 出火防止 初期消火  | ●初期消火 ●消火器を使う ●バケツリレー 風呂の水はため置きをしておく | ●余震に注意    |
|            | ●漏電・ガス漏れに注意 電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める   |           |



#### 防災無線などで正しい情報を

- 防災無線や防災情報登録制メール等により伝達される町からの情報に注意する
- 防災機関、自主防災組織の情報を確認 ●デマにまどわされないように
- 電話は緊急連絡を優先する ●災害用伝言ダイヤルの活用



#### 協力して消火活動、救出・救護活動を

- 大声で知らせる ●救出・救護を
- 水、食料は蓄えているものでまかなう 3日間から1週間程度の飲料水と食料の備蓄をしておく
- 災害・被害情報の収集 ●無理な救助、消火活動は行わず、自身の安全を第一に考える
- 助け合いの心が大切 ●壊れた家に入らない

### 屋内にいた場合

#### 家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 揺れがおさまったら火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 乳幼児や病人、高齢者など要配慮者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。



#### デパート・スーパー

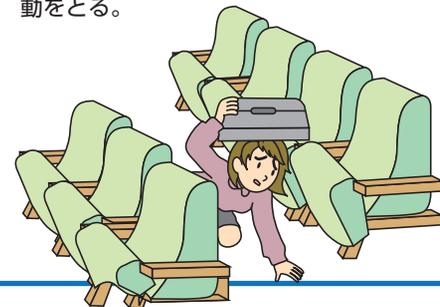
- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示に従い、落ち着いた行動をとる。

#### 集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- 避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

#### 劇場・ホール

- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示に従う。あわてずに冷静な行動をとる。



### 屋外にいた場合

#### 路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などの安全な場所に避難する。
- 近くに空き地などがないときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。



#### 車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れないで持ち出し、徒歩で避難する。

#### 海岸付近

- 高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

#### 電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。



# わが家の地震対策&チェック

## 家の中の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

### 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換える。



### 安全に避難するため、出入口や通路にもものを置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。



### 家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



### 子どもやお年寄りのいる部屋、寝室には家具を置かない

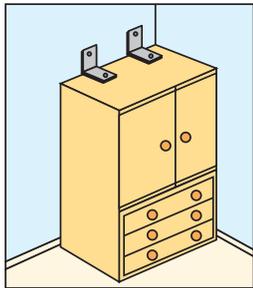
就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。



## 家具の転倒、落下を防ぐポイント

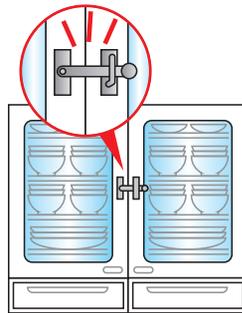
### タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



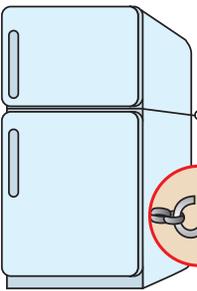
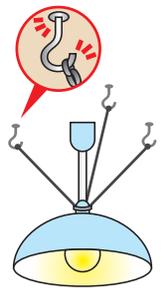
### 食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



### 照明

チェーンと金具を使って数箇所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



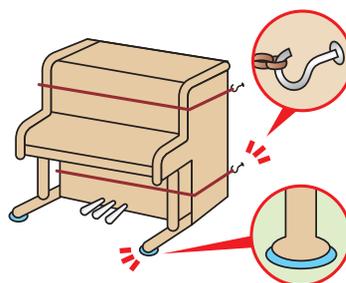
### 冷蔵庫

2ドアの場合は、扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



### テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上はさける)。



### ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。

## 家の周囲の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

### 屋根

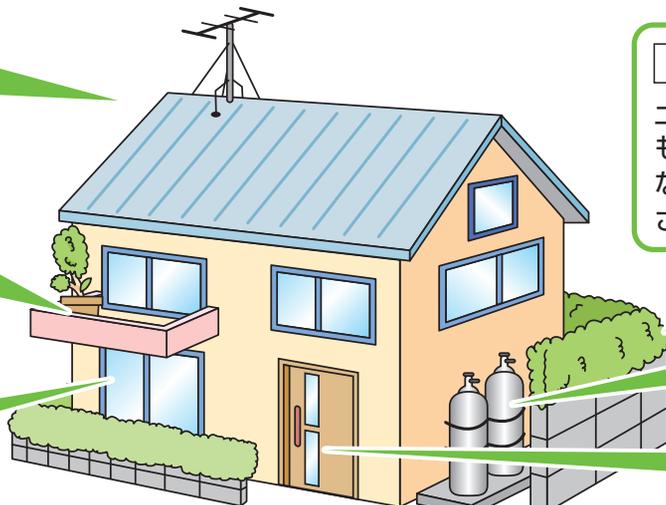
不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

### ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

### 窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。



### ブロック塀・門柱

土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

### プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。

### 非常口の確保

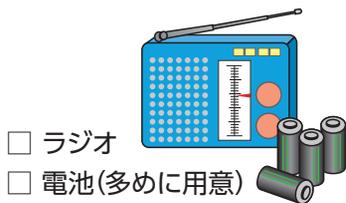
# 非常時持出品の準備&チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検をしておきましょう。

## 非常時持出品(例)

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

### 携帯ラジオ



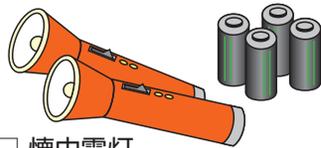
- ラジオ
- 電池(多めに用意)

### 非常食品等



- 非常用食品
- ミネラルウォーター

### 懐中電灯



- 懐中電灯  
(出来れば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)

### 救急医療品



- 常備薬
- きず薬
- かぜぐすり
- 鎮痛剤
- ばんそうこう
- 包帯
- 胃腸薬

### 衛生用品



- マスク
- 消毒液(石けん等)
- 体温計
- 使い捨てのビニール手袋
- ウェットティッシュ、ティッシュ
- ペーパータオル

### 貴重品



- 現金
- 印鑑
- 健康保険証
- 預貯金通帳
- 免許証
- 権利証書

### 乳幼児のいるご家庭



- 液体ミルク  
(又は粉ミルク+  
軟水や蒸留水)
- 離乳食
- 哺乳瓶
- 紙おむつ
- おしりふき
- おもちゃ  
(お気に入りのもの)

### その他

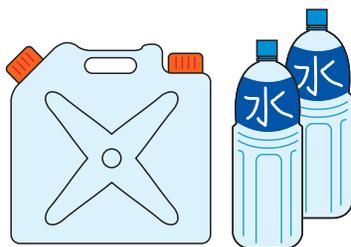


- 衣類  
(下着・上着など)
- 生理用品
- 缶切り
- 紙皿
- 水筒
- ヘルメット
- 防災マップ(本書)
- タオル
- 紙おむつ
- 栓抜き
- 紙コップ
- カップ
- ライター
- ラップフィルム  
(止血や食器に  
かぶせて使う)

## 非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの3日間~1週間を生活できるようにチェック☑しましょう。

### 飲料水



- 飲料水としてペットボトルやミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)又は貯水した防災タンクなど

### 非常食品



- お米(アルファ化米など)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)

### 燃料



- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料

### その他



- 生活用水  
(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・  
ドライシャンプーなど
- 調理器具(なべ・やかんなど)
- バケツ・各種アウトドア用品など

~お手軽防災のススメ~

## ローリングストックはじめよう!

誰でも簡単!手軽に3ステップ!  
これがローリングストックだ!

**ローリングストック**とは、普段使う食料や日用品を、もしもの場合に備えて多めに買って置き、古くなったものから日々の生活の中で使い、使った分を買い足すことで常に新しいものを保存しておくという、新しい災害用備蓄の考え方です。

「災害に備えなきゃいけないのはわかっているけど、何をすれば」とお考えのあなた。

まずは **ローリングストック** で、簡単・手軽に防災、はじめてみませんか。

出典: 山形県環境エネルギー部【防災危機管理課】ローリングストックをはじめよう!  
([https://www.pref.yamagata.jp/documents/1718/yamagata_rollingstock.pdf](https://www.pref.yamagata.jp/documents/1718/yamagata_rollingstock.pdf))を加工して作成しています。



# わが家の「防災・緊急情報」メモ

非常時・緊急時の連絡先などを「メモ」しておくページです。  
家族みんなで話し合い、記入ください。

氏名		電話	
住所			
指定避難所			
<small>家族が離ればなれになった時の指定避難所</small>			
地域の自主防災組織			

家族構成 連絡先	氏名	生年月日	電話(携帯・会社・学校)	住所	メモ	

家族の 緊急情報 ・ 救急メモ	氏名	血液型	持病・アレルギー	常備薬	かかりつけ医療機関	

【メモ】※書ききれなかった内容や、知ってほしい情報(介護情報・救急隊員への伝言など)をお書きください。

-----

-----

緊急時 連絡先	氏名	間柄	電話	住所	メモ	

## 災害用伝言ダイヤルの使い方

**災害用伝言ダイヤルとは?** NTTでは、災害発生時に、被災地への通話がつながりにくい状況の場合、被災地内の安否等の情報を音声で録音、再生する「災害用伝言ダイヤル」を設置します。NTT「災害用伝言板(web171)」との連携により、伝言内容を相互に確認が可能。

伝言の録音	<b>171-1</b> -▲▲▲▲▲-■-◆◆◆◆ (被災地の方の電話番号)	伝言保存期間	運用期間終了まで
伝言の再生	<b>171-2</b> -▲▲▲▲▲-■-◆◆◆◆ (被災地の方の電話番号)	伝言蓄積数	1電話番号あたり1~20件 (提供時にお知らせいたします)
伝言内容	1伝言あたり30秒以内	利用可能電話	固定電話、IP電話(050含む)、 携帯電話、PHS

# 避難行動ガイド

町では、住民の皆さまの生命に危険が及ぶと判断した場合、「高齢者等避難」、「避難指示」を発令し、住民の皆さまに避難を促します。避難指示等が発令するときは、様々な状況を総合的に判断して発令します。

## 避難とは・・・

避難とは、災害から命を守るための行動であり、避難行動には次のような方法があります。

### 屋外が安全で移動できる状態のとき

指定避難所・指定緊急避難場所への移動。

警戒区域等内の自宅などから安全な場所への移動。(親戚や友人の家など)

近隣の強固で高い建物などへの移動。

### 屋外が危険な状態のとき

建物内の安全な場所での待避。(家屋内での垂直避難)

やむを得ず、家屋内に留まった場合、安全を確保する避難行動として、洪水対策では建物の2階以上高いところへ、土砂災害対策では、斜面と反対方向の高い階への移動が有効です。

## 避難指示等の種類と、住民の皆さまの対応

避難指示等は、災害の種類ごとに避難行動が必要な地域を示して発令しますが、地域やご家庭などの事情によって、「避難指示」を待たずに避難が必要と考えられる場合は、「自主避難」をお願いします。

区分	住民の皆さまの対応
<b>避難指示</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難がまだの人は、直ちに避難をする。</li> <li>避難をすることが、かえって危険と判断される場合は、屋内で安全を確保する。</li> </ul>
<b>高齢者等避難</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象情報に注意を払い、避難の必要について考え、避難が必要と判断した場合は自主避難(※1)をする。</li> <li>要配慮者(障がい者や高齢者で避難行動が困難な人と、その支援者)は、この段階で避難をする。</li> </ul>

※1 「自主避難」とは・・・避難指示等を待たず、自主的に避難施設、親戚や友人の家などの安全な場所へ避難することです。その際は、出来るだけ必要な食料、飲み物、日用品などを持参するようにしてください。

※2 雨が降り続けていたら、テレビ・ラジオ・スマートフォン・パソコンなどで最新の気象情報を入手しましょう。特に、河川氾濫時の浸水想定区域や土砂災害警戒区域にお住まいの方は、自分で早めに判断し、「危ない」と思ったら、直ちに危険な区域から離れるなどの行動(自主避難)をとることが命を守ることになります。



避難の際には、ご近所にも声をかけあい、地域で協力し合う避難を心がけましょう。



お年寄りや体の不自由な方などの避難に協力しましょう。



インターネット・気象庁ホームページ



テレビ・ラジオ

## 大雨のとき

河川の近くや、土砂災害のおそれがある区域において、町が設定している基準に達した場合に、避難指示等が発令します。また、短時間に大雨が想定される場合には、高齢者等避難が発令されずに避難指示が発令される場合もあります。



## 地震のとき

大きな地震やそれに伴う余震により家屋が倒壊し、又は倒壊するおそれがあるときに避難指示を発令します。※直ちに指定避難所を開設するよう努めますが、災害の規模により時間がかかる場合があります。



## 火災のとき

大規模な延焼拡大のおそれがあるときに避難指示を発令します。



## その他

その他災害が発生するおそれがあるときに避難指示を発令します。

# 関係機関一覧

## 行政関係機関

(市外局番：0233)

名称	所在地	電話番号	備考
舟形町役場	舟形町舟形 263	32-2111	
舟形町防災センター	舟形町舟形 149-2	32-0341	
舟形町福祉避難所	舟形町舟形 4550-1	32-0528	
舟形町中央公民館(教育委員会)	舟形町舟形 126	32-2246	
舟形町生涯学習センター	舟形町長沢 3798	32-1880	
舟形町農村環境改善センター	舟形町富田 1265	32-1885	
舟形町B&G海洋センター	舟形町舟形 448-4	32-3501	
最上広域市町村圏事務組合消防本部 災害情報テレホンサービス	新庄市金沢字中村 1279-1	22-7521 0180-99-2345	火事・救急・救急車 119
最上広域市町村圏事務組合消防署南支署	舟形町長者原字福寿野 1436-150	32-2101	
新庄警察署	新庄市新町 5-19	22-0110	
新庄警察署 舟形町駐在所	舟形町舟形 309-4	32-2102	
新庄警察署 長沢駐在所	舟形町長沢 1080-1	33-2012	
舟形クリニック	舟形町舟形 365-17	32-3300	
新庄市夜間休日診療所	新庄市堀端町 3-33	29-6300	
リサイクルプラザもがみ	舟形町富田字松原沢 3471-31	32-2042	
エコプラザもがみ	鮭川村大字川口字泉川前山 2756-27	22-3838	
舟形町役場 防災無線確認用電話		32-2112 または 32-2113	
山形県救急電話相談		#8000 または 023-633-0299 #8500 または 023-633-0799	15歳未満(小児) 15歳以上(大人)

## 学校関係機関

(市外局番：0233)

名称	所在地	電話番号	備考
舟形小学校	舟形町舟形 4560	32-2106	
舟形中学校	舟形町舟形 555-4	32-2108	
ほほえみ保育園	舟形町舟形 4545	32-2120	

## ライフライン関係機関

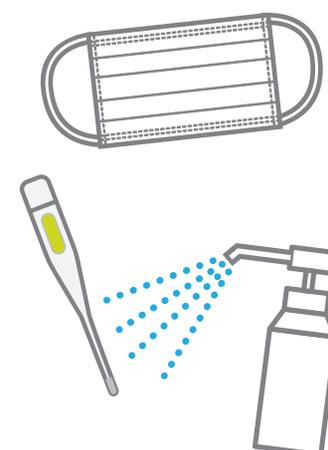
(市外局番：0233)

名称	所在地	電話番号	備考
東北電力(株)コールセンター		0120-175-366	停電・緊急時
NTT東日本(株)山形支店		113 または 0120-444-113	電話の故障
災害用伝言ダイヤル		171	利用方法は10ページを参照下さい。
舟形町役場地域整備課水道・下水道係	舟形町舟形 263	32-0915	

## 新型コロナウイルス感染症等における指定避難所の対応について

新型コロナウイルス感染症等がまん延する状況において、災害が発生し指定避難所を開設する場合には、指定避難所が密集した環境下での集団生活等により、感染拡大のリスクが高まります。町では、可能な限り指定避難所の衛生環境の確保に努めてまいります。住民の皆さまにも避難にあたりご理解とご協力をお願いします。

- 「避難」とは「難」を「避」けることであり、自宅での安全確保が可能な人は、**感染リスクを負ってまで指定避難所に行く必要はない**と考えます。
- 町が指定した指定避難所への避難だけでなく、可能な場合は**災害危険のない親戚や友人・知人宅への避難も検討**してください。また夜暗くなってからの避難は危険ですので、**日没前の明るいうちに避難**を完了できるようにしましょう。



# 避難所・避難場所一覧

**指定避難所** 災害の危険性がなくなるまで滞在したり、家に戻れなくなった方が一定期間滞る施設です。※1

**指定緊急避難場所** 災害が発生し、または発生するおそれがある場合に、危険から逃れるために一時的に避難する施設です。

**福祉避難所** 一般の避難所では生活に支障をきたす要配慮者に対し、人員、設備面で一定の配慮がなされている施設です。

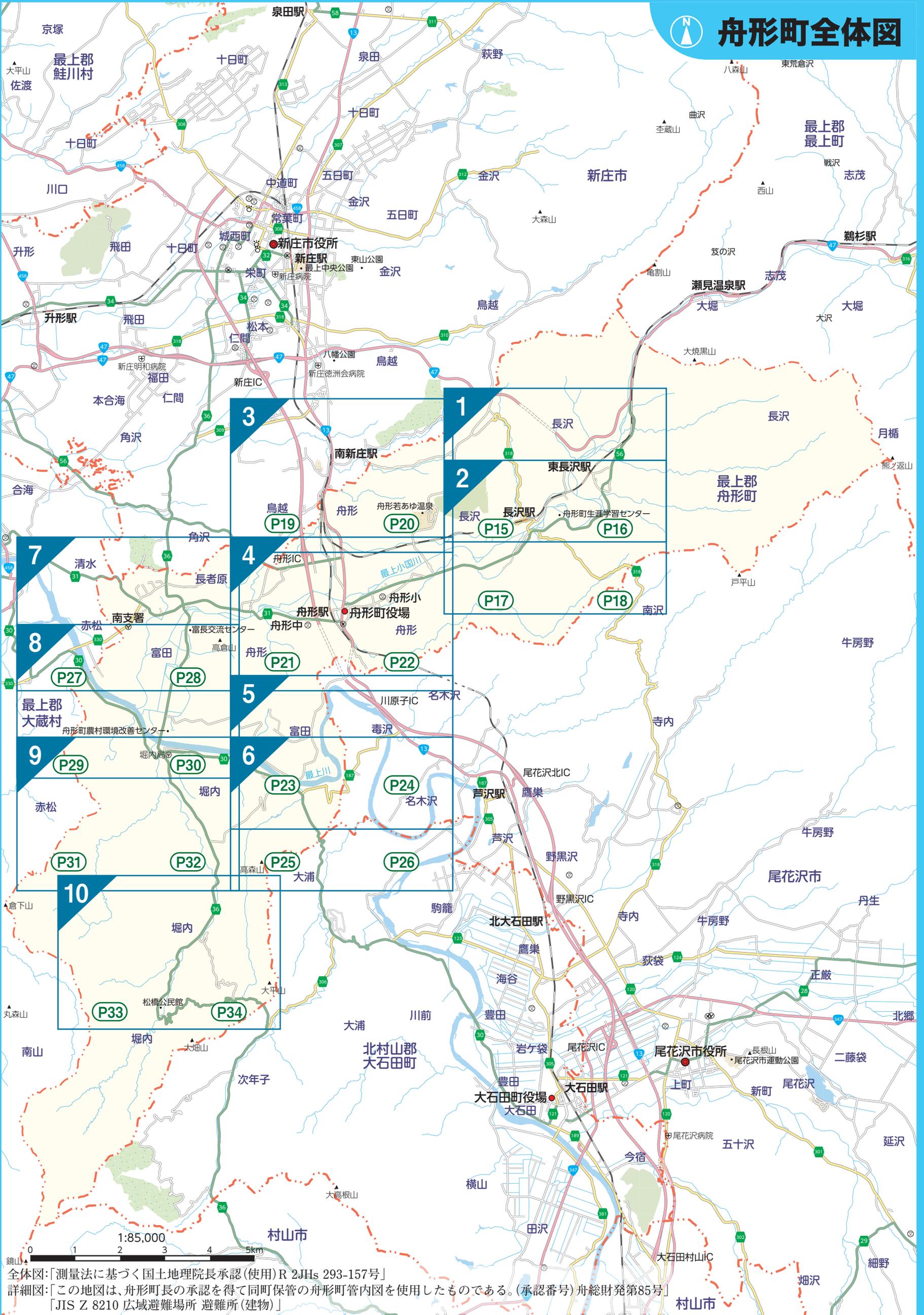
NO	施設・場所名	※1 指定 避難所	指定緊急 避難場所	福祉 避難所	対象とする異常な現象の種類				該当詳細図
					洪水	崖崩れ、 土石流 及び地滑り	地震	ため池	
1	野公民館(野集会センター)	×	○	×	○	○	○	○	1・2
2	幅コミュニティセンター	×	○	×	○	×	○	○	1・2
3	長尾公民館	×	○	×	×	○	○	○	1・2
4	内山公民館(内山地区多目的集会所)	×	○	×	×	○	○	○	1・2
5	経壇原公民館(経壇原多目的集会所)	×	○	×	○	○	○	○	2
6	大平公民館(大平多目的集会所)	×	○	×	○	×	○	○	3
7	紫山公民館(紫山農事集会所)	×	○	×	○	○	○	○	3・4
8	沖の原公民館(沖の原地域農業総合管理施設)	×	○	×	○	○	○	○	4
9	一の関公民館	×	○	×	○	×	○	○	4
10	西堀公民館	×	○	×	○	×	○	×	4
11	木友公民館	×	○	×	○	×	○	○	4
12	太折公民館(太折多目的集会所)	×	○	×	○	×	○	○	5・6
13	長者原公民館	×	○	×	○	○	○	○	7
14	富田公民館	×	○	×	○	○	○	○	7・8
15	福寿野公民館(福寿野防災ダム管理センター)	×	○	×	○	○	○	×	7
16	馬形公民館(馬形構造改善会館)	×	○	×	○	○	○	○	7・8
17	堀内公民館(堀内農業構造改善会館)	×	○	×	○	○	○	○	8・9
18	洲崎公民館(洲崎木工クラフト館)	×	○	×	○	○	○	○	8・9
19	実栗屋公民館	×	○	×	○	×	○	○	5・6
20	横山公民館	×	○	×	○	×	○	○	9
21	真木野公民館	×	○	×	○	○	○	○	9
22	新堀公民館	×	○	×	○	×	○	○	9
23	西又公民館(西又地区多目的集会所)	×	○	×	○	×	○	○	10
24	松橋公民館(松橋地区多目的集会所)	×	○	×	○	×	○	○	10
25	リサイクルプラザもがみ	×	○	×	○	○	○	○	5
26	舟形町生涯学習センター	○	○	×	○	○	○	○	1・2
27	長沢交流センター	○	○	×	○	○	○	○	1・2
28	舟形小学校	○	○	×	○	○	○	○	4
29	ほほえみ保育園	○	○	×	○	○	○	○	4
30	舟形中学校	○	○	×	○	×	○	×	4
31	舟形町中央公民館	○	○	×	○	○	○	○	4
32	舟形若あゆ温泉	○	○	×	○	○	○	○	3
33	富長交流センター	○	○	×	○	○	○	○	7・8
34	舟形町農村環境改善センター	○	○	×	○	○	○	○	8
35	舟形町福祉避難所	○	×	○					4
36	光生園	○	×	○					4
37	えんじゅ荘	○	×	○					4
38	ほなみ	○	×	○					4
39	舟形徳洲苑	○	×	○					8

※1 指定避難所の開設は、災害の発生場所、種類、規模によって異なりますので、防災無線、HP、防災情報登録制メール等により周知します。

※2 避難指示等発令する際は、舟形町生涯学習センター(長沢地区)、舟形町中央公民館(舟形地区)、舟形小学校(舟形地区)、富長交流センター(富長地区)、舟形町農村環境改善センター(堀内地区)を開設します。



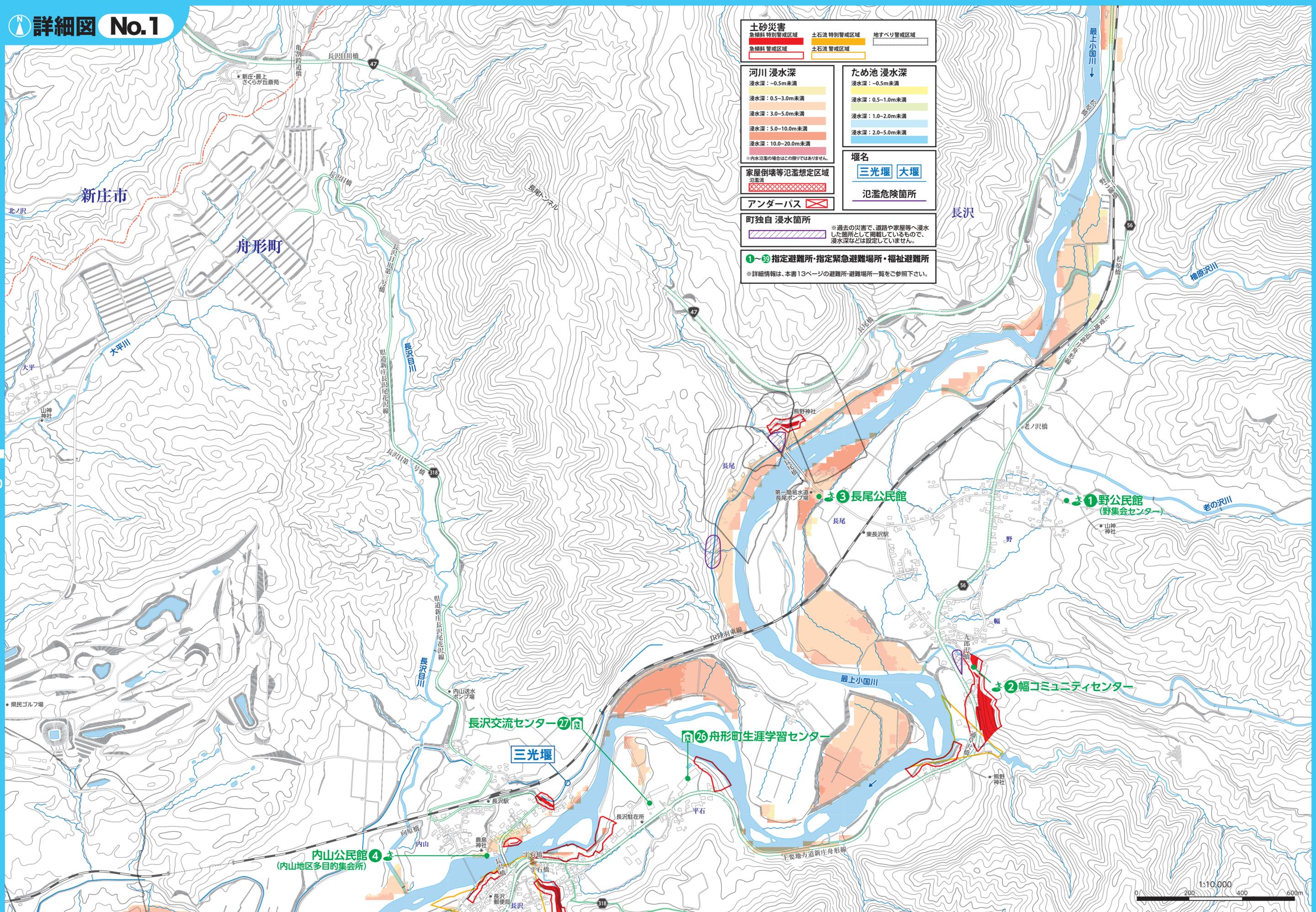
# 舟形町全体図



全体図:「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 293-157号」

詳細図:「この地図は、舟形町長の承認を得て同町保管の舟形町管内図を使用したものである。(承認番号)舟総財発第85号」

「JIS Z 8210 広域避難場所 避難所(建物)」



<b>土砂災害</b>		
急傾斜 特別警戒区域	土石流 特別警戒区域	地すべり警戒区域
急傾斜 警戒区域	土石流 警戒区域	

<b>河川 浸水深</b>		<b>ため池 浸水深</b>	
浸水深：-0.5m未満	浸水深：0.5~1.0m未満	浸水深：-0.5m未満	浸水深：0.5~1.0m未満
浸水深：0.5~3.0m未満	浸水深：1.0~2.0m未満	浸水深：0.5~1.0m未満	浸水深：1.0~2.0m未満
浸水深：3.0~5.0m未満	浸水深：2.0~5.0m未満	浸水深：1.0~2.0m未満	浸水深：2.0~5.0m未満
浸水深：5.0~10.0m未満			
浸水深：10.0~20.0m未満			

※内水氾濫の場合はこの限りではありません。

<b>家屋倒壊等氾濫想定区域</b>	<b>堰名</b>
氾濫流	三光堰 大堰
	氾濫危険箇所

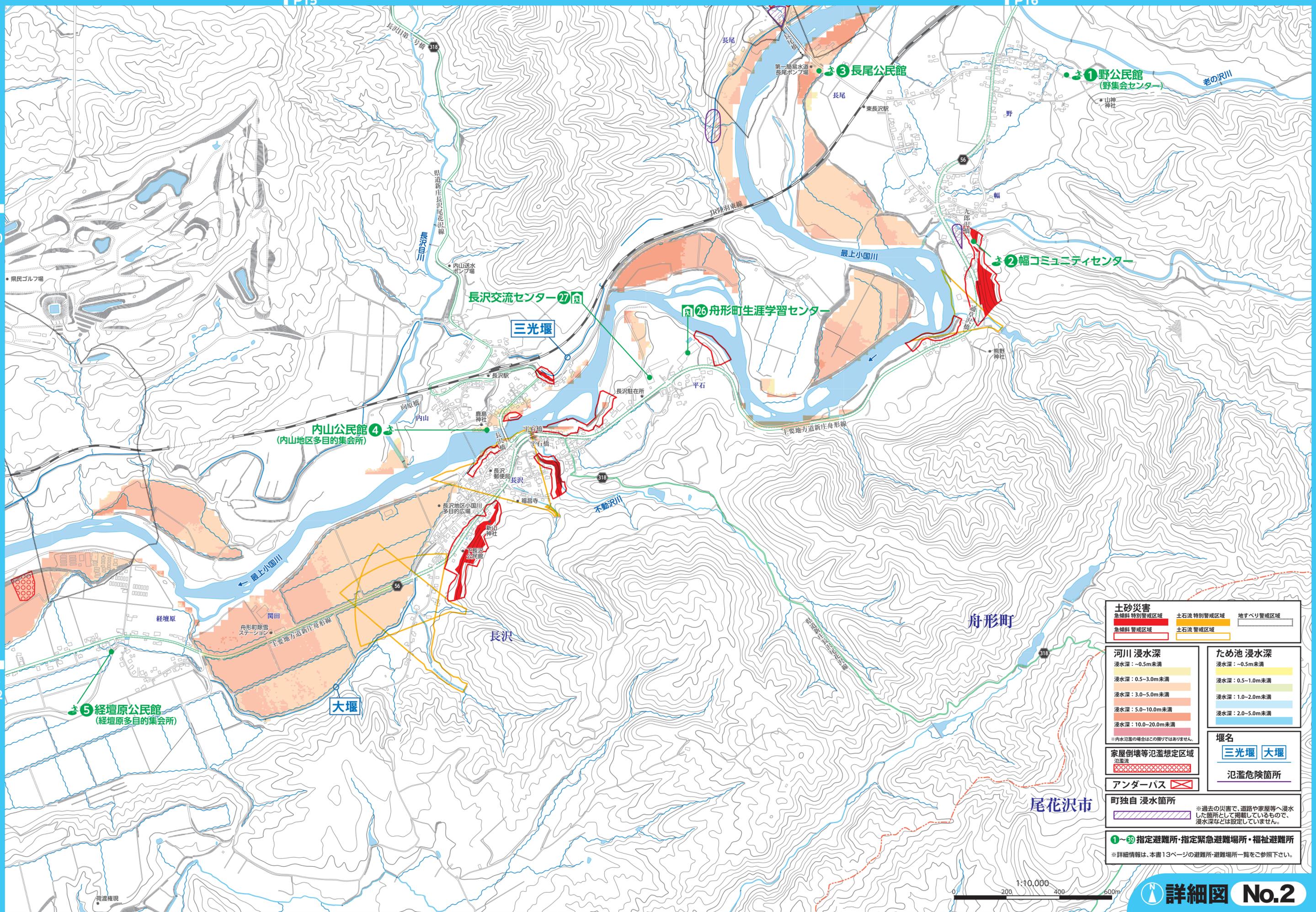
**アンダーパス**

**町独自 浸水箇所**

※過去の災害で、道路や家屋等へ浸水した箇所として掲載しているもので、浸水深などは設定していません。

**①~③ 指定避難所・指定緊急避難場所・福祉避難所**

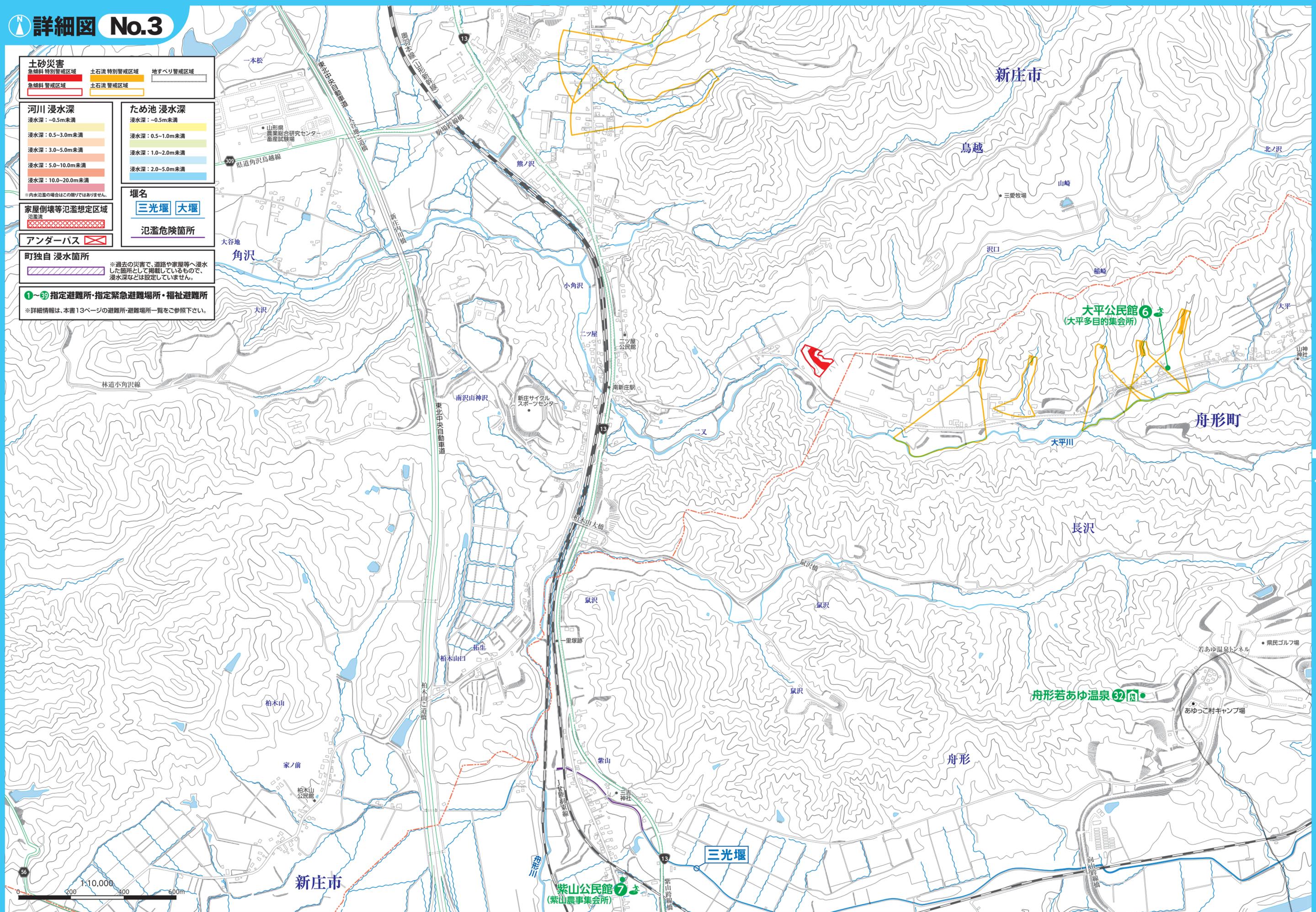
※詳細情報は、本書13ページの避難所・避難場所一覧をご参照下さい。

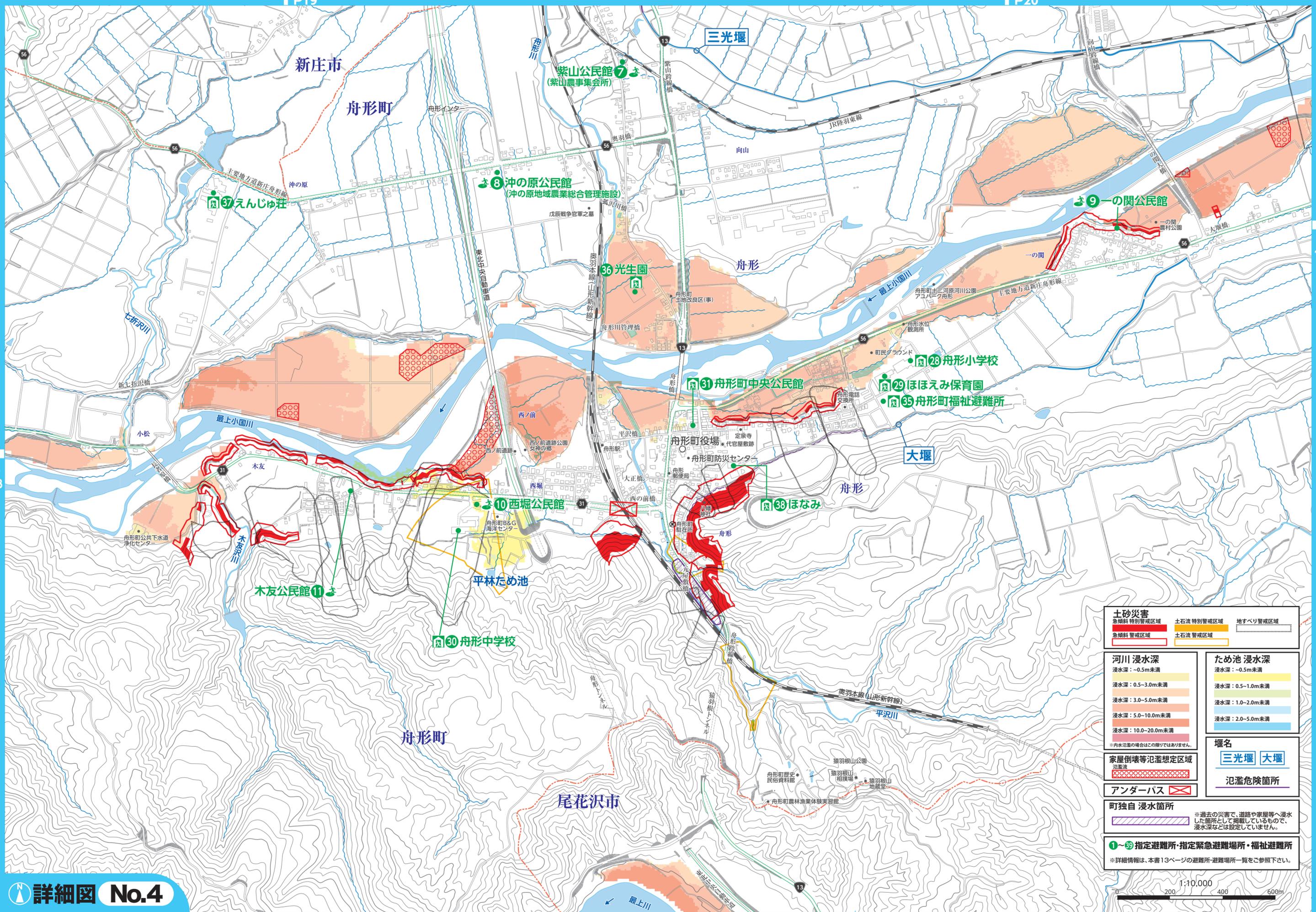


<b>土砂災害</b>		
急傾斜 特別警戒区域	土石流 特別警戒区域	地すべり警戒区域
急傾斜 警戒区域	土石流 警戒区域	
<b>河川 浸水深</b>		
浸水深：-0.5m未満		
浸水深：0.5-3.0m未満		
浸水深：3.0-5.0m未満		
浸水深：5.0-10.0m未満		
浸水深：10.0-20.0m未満		
※内水氾濫の場合はこの限りではありません。		
<b>ため池 浸水深</b>		
浸水深：-0.5m未満		
浸水深：0.5-1.0m未満		
浸水深：1.0-2.0m未満		
浸水深：2.0-5.0m未満		
<b>堰名</b>		
三光堰	大堰	
<b>家屋倒壊等氾濫想定区域</b>		
氾濫流		
<b>アンダーパス</b>		
<b>町独自 浸水箇所</b>		
※過去の災害で、道路や家屋等へ浸水した箇所として掲載しているもので、浸水深などは設定していません。		
<b>①~⑥ 指定避難所・指定緊急避難場所・福祉避難所</b>		
※詳細情報は、本書13ページの避難所・避難場所一覧をご参照下さい。		

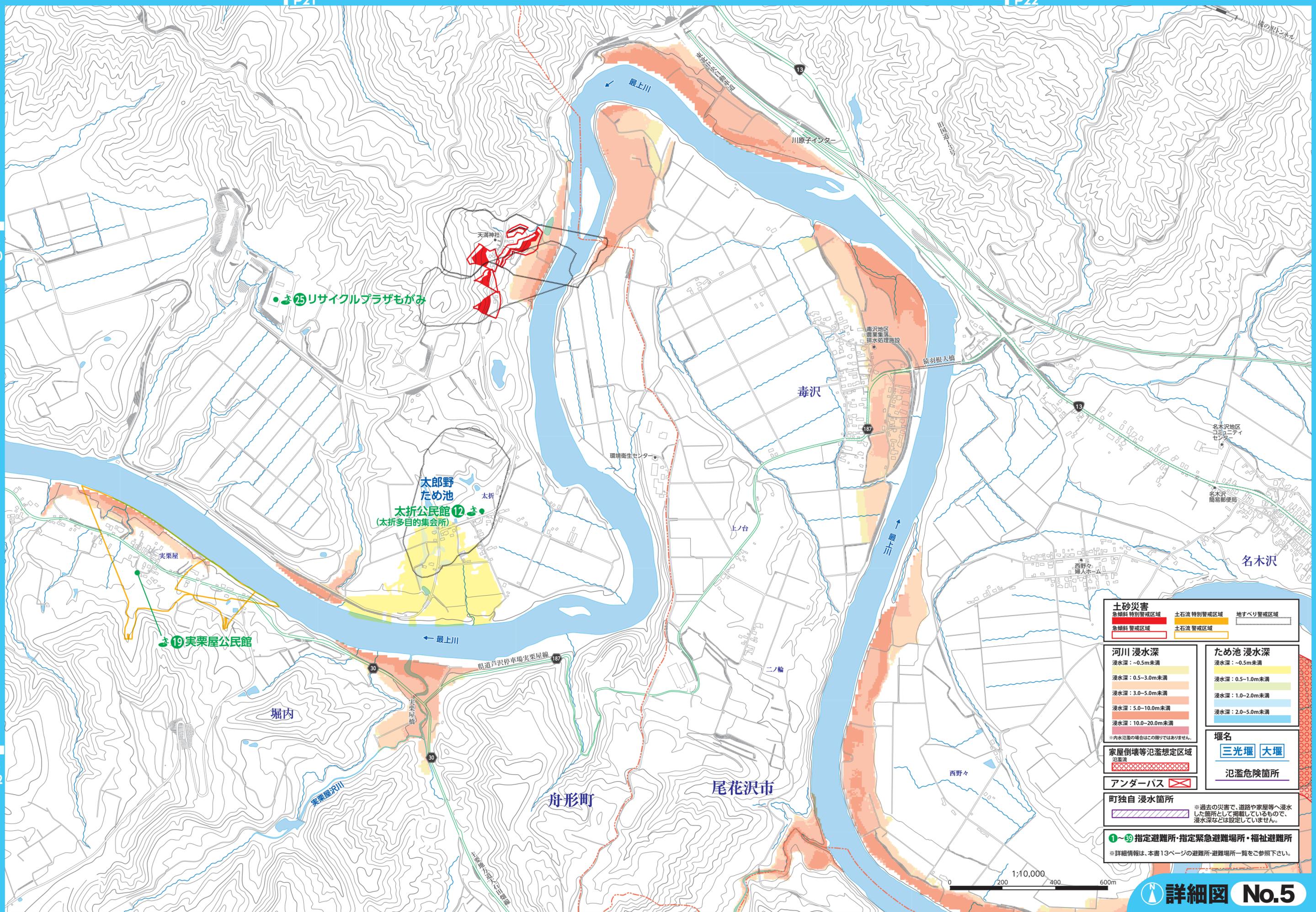
1:10,000  
0 200 400 600m

<b>土砂災害</b>		
急傾斜 特別警戒区域	土石流 特別警戒区域	地すべり警戒区域
急傾斜 警戒区域	土石流 警戒区域	
<b>河川 浸水深</b>		
浸水深：-0.5m未満		
浸水深：0.5-3.0m未満		
浸水深：3.0-5.0m未満		
浸水深：5.0-10.0m未満		
浸水深：10.0-20.0m未満		
※内水氾濫の場合はこの限りではありません。		
<b>ため池 浸水深</b>		
浸水深：-0.5m未満		
浸水深：0.5-1.0m未満		
浸水深：1.0-2.0m未満		
浸水深：2.0-5.0m未満		
<b>堰名</b>		
三光堰	大堰	
<b>氾濫危険箇所</b>		
アンダーパス		
<b>町独自 浸水箇所</b>		
※過去の災害で、道路や家屋等へ浸水した箇所として掲載しているもので、浸水深などは設定していません。		
<b>①～⑨ 指定避難所・指定緊急避難場所・福祉避難所</b>		
※詳細情報は、本書13ページの避難所・避難場所一覧をご参照下さい。		





<b>土砂災害</b>	急傾斜 特別警戒区域	土石流 特別警戒区域	地すべり警戒区域
急傾斜 警戒区域	土石流 警戒区域		
<b>河川 浸水深</b>	浸水深：-0.5m未満		
	浸水深：0.5-3.0m未満		
	浸水深：3.0-5.0m未満		
	浸水深：5.0-10.0m未満		
	浸水深：10.0-20.0m未満		
※内水氾濫の場合はこの限りではありません。			
<b>ため池 浸水深</b>	浸水深：-0.5m未満		
	浸水深：0.5-1.0m未満		
	浸水深：1.0-2.0m未満		
	浸水深：2.0-5.0m未満		
<b>堰名</b>	三光堰	大堰	
<b>家屋倒壊等氾濫想定区域</b>	氾濫流		
<b>アンダーパス</b>			
<b>町独自 浸水箇所</b>			※過去の災害で、道路や家屋等へ浸水した箇所として掲載しているもので、浸水深などは設定していません。
<b>①~⑳ 指定避難所・指定緊急避難場所・福祉避難所</b>			※詳細情報は、本書13ページの避難所・避難場所一覧をご参照下さい。

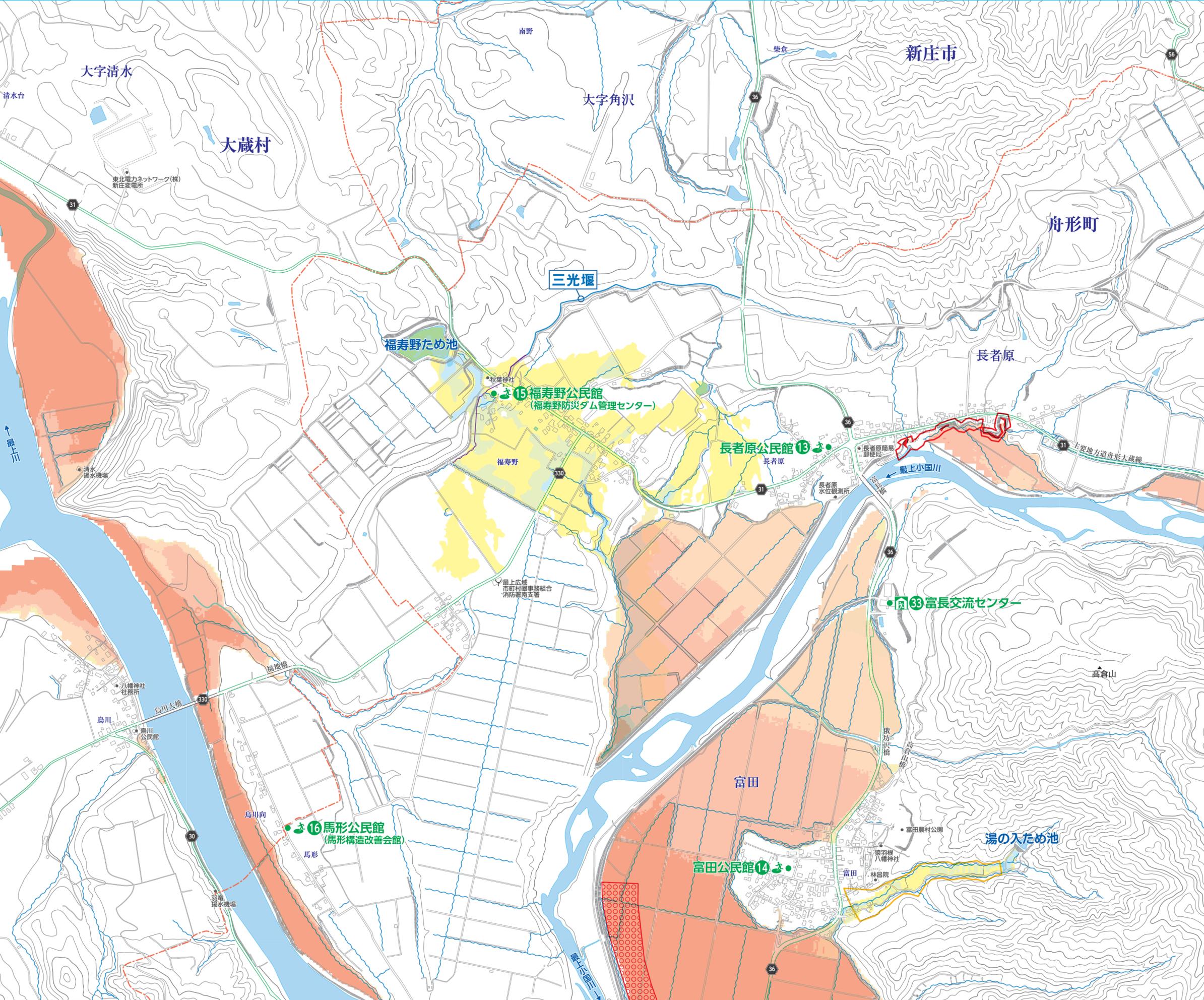


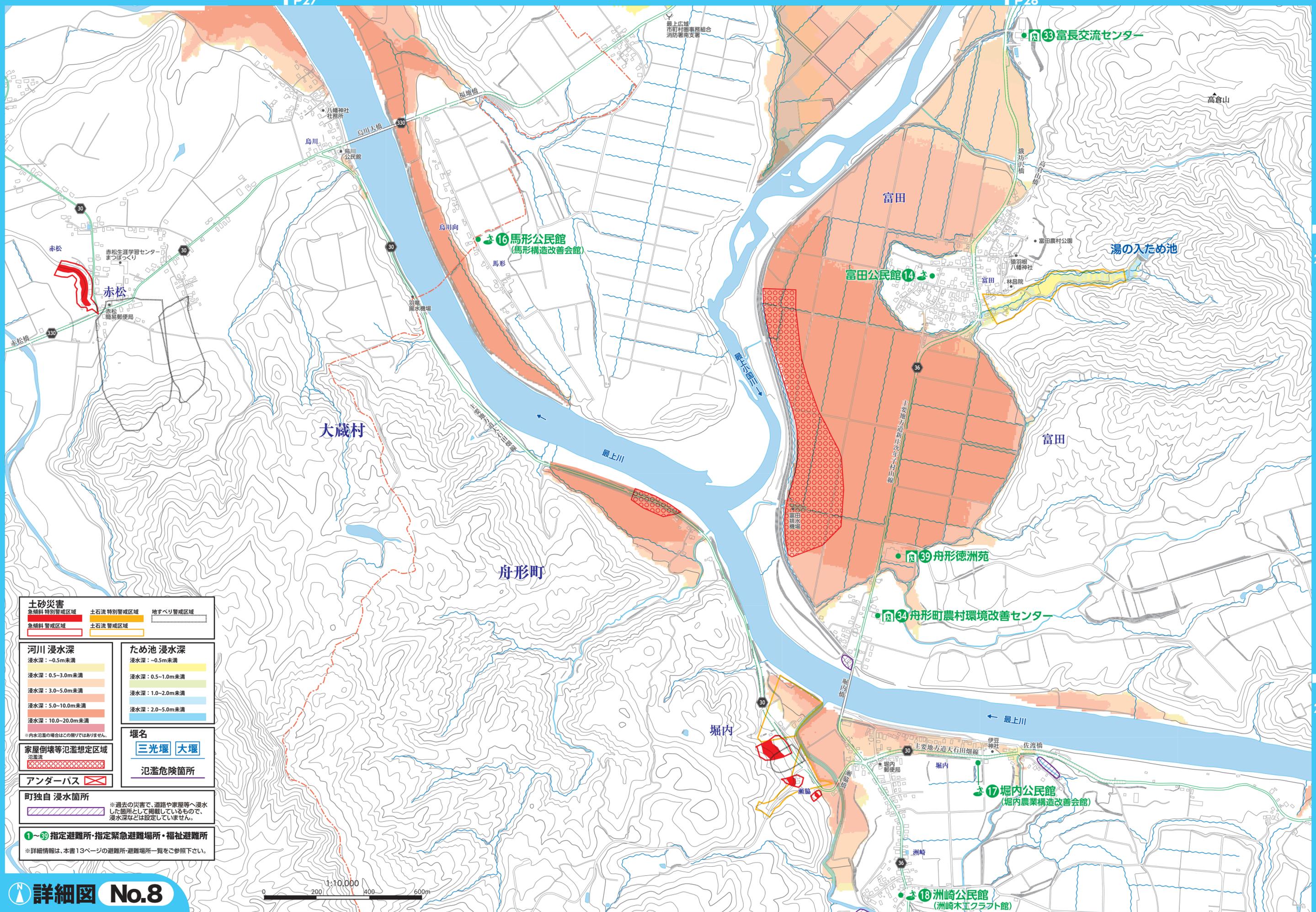
<b>土砂災害</b>		
急傾斜 特別警戒区域	土石流 特別警戒区域	地すべり警戒区域
急傾斜 警戒区域	土石流 警戒区域	
<b>河川 浸水深</b>		
浸水深：-0.5m未満	浸水深：-0.5m未満	
浸水深：0.5-3.0m未満	浸水深：0.5-1.0m未満	
浸水深：3.0-5.0m未満	浸水深：1.0-2.0m未満	
浸水深：5.0-10.0m未満	浸水深：2.0-5.0m未満	
浸水深：10.0-20.0m未満		
<small>※内水氾濫の場合はこの限りではありません。</small>		
<b>ため池 浸水深</b>		
浸水深：-0.5m未満		
浸水深：0.5-1.0m未満		
浸水深：1.0-2.0m未満		
浸水深：2.0-5.0m未満		
<b>堰名</b>		
三光堰 大堰		
氾濫危険箇所		
<b>家屋倒壊等氾濫想定区域</b>		
氾濫流		
<b>アンダーパス</b>		
<b>町独自 浸水箇所</b>		
<small>※過去の災害で、道路や家屋等へ浸水した箇所として掲載しているもので、浸水深などは設定していません。</small>		
<b>①~⑳ 指定避難所・指定緊急避難場所・福祉避難所</b>		
<small>※詳細情報は、本書13ページの避難所・避難場所一覧をご参照下さい。</small>		

1:10,000  
0 200 400 600m

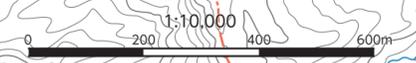


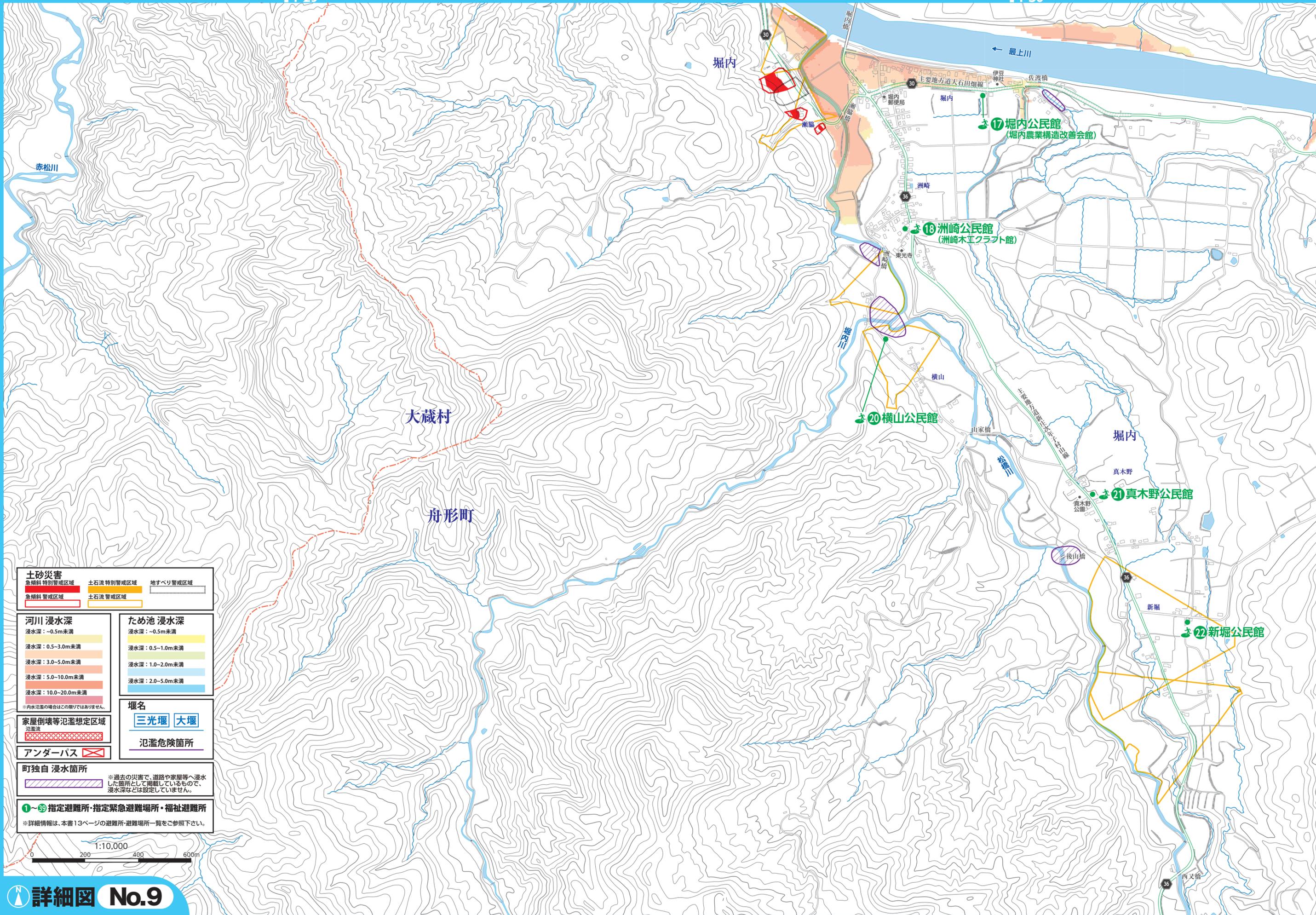
<b>土砂災害</b>		
急傾斜 特別警戒区域	土石流 特別警戒区域	地すべり警戒区域
急傾斜 警戒区域	土石流 警戒区域	
<b>河川 浸水深</b>		
浸水深：～0.5m未満		
浸水深：0.5～3.0m未満		
浸水深：3.0～5.0m未満		
浸水深：5.0～10.0m未満		
浸水深：10.0～20.0m未満		
※内水氾濫の場合はこの限りではありません。		
<b>家屋倒壊等氾濫想定区域</b>		
氾濫流		
<b>アンダーパス</b>		
<b>町独自 浸水箇所</b>		
※過去の災害で、道路や家屋等へ浸水した箇所として掲載しているもので、浸水深などは設定していません。		
<b>指定避難所・指定緊急避難場所・福祉避難所</b>		
※詳細情報は、本書13ページの避難所・避難場所一覧をご参照下さい。		





<b>土砂災害</b>		
急傾斜 特別警戒区域	土石流 特別警戒区域	地すべり 警戒区域
急傾斜 警戒区域	土石流 警戒区域	
<b>河川 浸水深</b>		
浸水深：-0.5m未満		
浸水深：0.5-3.0m未満		
浸水深：3.0-5.0m未満		
浸水深：5.0-10.0m未満		
浸水深：10.0-20.0m未満		
<small>※内水氾濫の場合はこの限りではありません。</small>		
<b>ため池 浸水深</b>		
浸水深：-0.5m未満		
浸水深：0.5-1.0m未満		
浸水深：1.0-2.0m未満		
浸水深：2.0-5.0m未満		
<b>堰名</b>		
三光堰	大堰	
<b>氾濫危険箇所</b>		
<b>アンダーパス</b>		
<b>町独自 浸水箇所</b>		
<small>※過去の災害で、道路や家屋等へ浸水した箇所として掲載しているもので、浸水深などは設定していません。</small>		
<b>①-③⑨ 指定避難所・指定緊急避難場所・福祉避難所</b>		
<small>※詳細情報は、本書13ページの避難所・避難場所一覧をご参照下さい。</small>		





**土砂災害**

急傾斜 特別警戒区域	土石流 特別警戒区域	地すべり 警戒区域
急傾斜 警戒区域	土石流 警戒区域	

**河川 浸水深**

浸水深：～0.5m未滿
浸水深：0.5～3.0m未滿
浸水深：3.0～5.0m未滿
浸水深：5.0～10.0m未滿
浸水深：10.0～20.0m未滿

※内水氾濫の場合はこの限りではありません。

**ため池 浸水深**

浸水深：～0.5m未滿
浸水深：0.5～1.0m未滿
浸水深：1.0～2.0m未滿
浸水深：2.0～5.0m未滿

**堰名**

三光堰 大堰

**氾濫危険箇所**

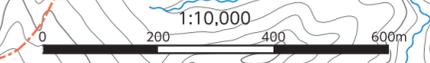
アンダーパス

**町独自 浸水箇所**

※過去の災害で、道路や家屋等へ浸水した箇所として掲載しているもので、浸水深などは設定していません。

**①～⑳ 指定避難所・指定緊急避難場所・福祉避難所**

※詳細情報は、本書13ページの避難所・避難場所一覧をご参照下さい。



**土砂災害**  
 急傾斜 特別警戒区域 土石流 特別警戒区域 地すべり 警戒区域  
 急傾斜 警戒区域 土石流 警戒区域

**河川 浸水深**  
 浸水深：-0.5m未満  
 浸水深：0.5-3.0m未満  
 浸水深：3.0-5.0m未満  
 浸水深：5.0-10.0m未満  
 浸水深：10.0-20.0m未満  
※内水氾濫の場合はこの限りではありません。

**ため池 浸水深**  
 浸水深：-0.5m未満  
 浸水深：0.5-1.0m未満  
 浸水深：1.0-2.0m未満  
 浸水深：2.0-5.0m未満

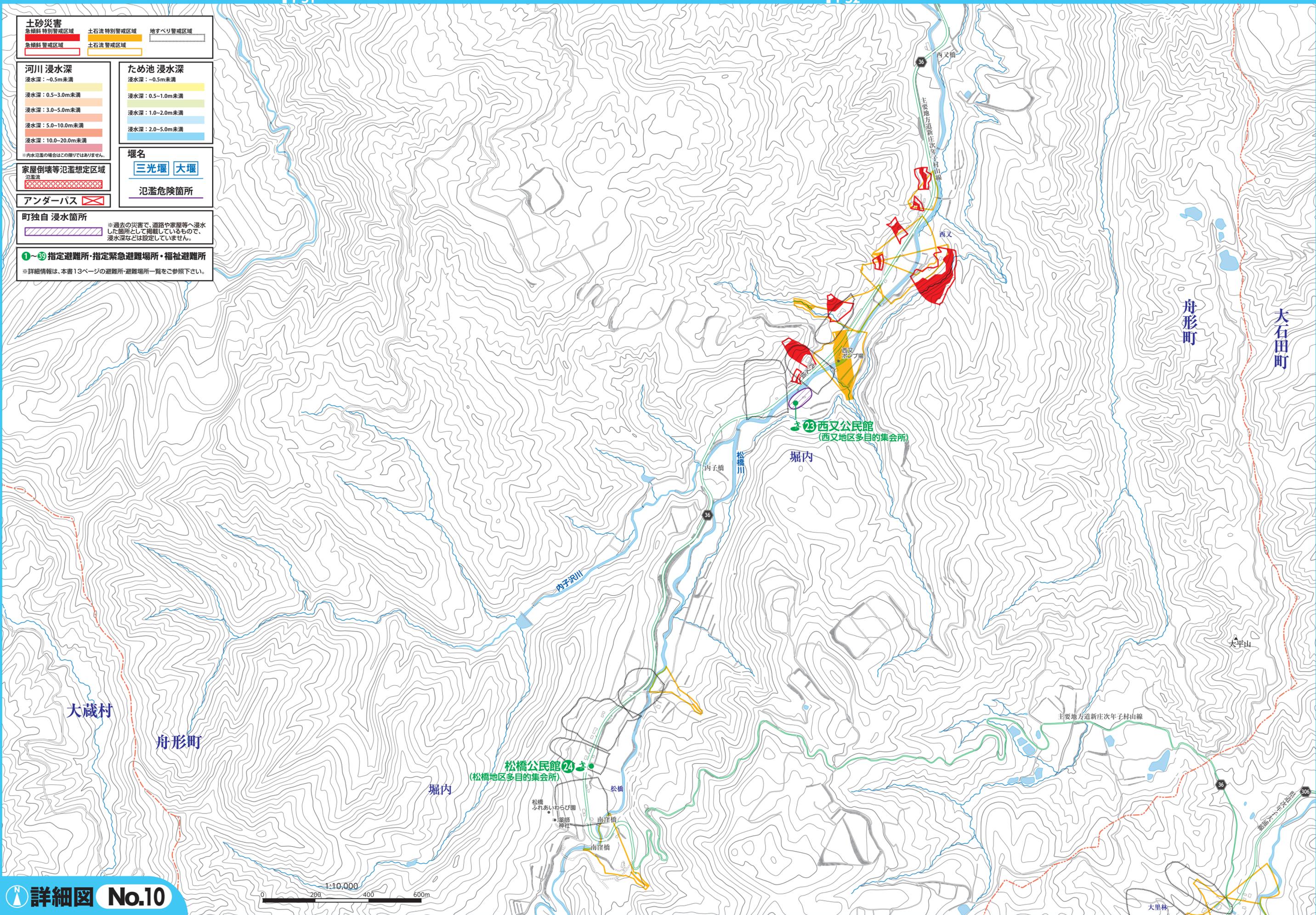
**堰名**  
 三光堰 大堰  
 氾濫危険箇所

**家屋倒壊等氾濫想定区域**  
 氾濫流

**アンダーパス**

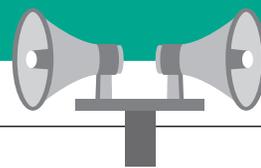
**町独自 浸水箇所**  
※過去の災害で、道路や家屋等へ浸水した箇所として掲載しているもので、浸水深などは設定していません。

**指定避難所・指定緊急避難場所・福祉避難所**  
※詳細情報は、本書13ページの避難所・避難場所一覧をご参照下さい。



# 防災情報の入手方法

## 防災無線と防災無線応答装置



災害発生が予想される場合や火災情報は、防災無線により、避難情報などを一斉に放送します。

### 【主な広報内容】

- 全国瞬時警報システム(Jアラート)で緊急地震速報、特別警報等の広報
- 台風などの気象情報を伝える注意喚起の広報
- 「高齢者等避難」「避難指示」の避難行動を呼びかける広報
- 火災場所等の災害情報に係る広報
- 災害対応の訓練、又は訓練に関する広報

防災無線からの内容が聞き取れなかった場合は、放送の内容を電話で確認できるシステム(自動音声応答システム)があります。

【自動音声応答システム】 ● 自動音声応答電話番号：**0233-32-2112**  
または **32-2113**



## 防災情報登録制メール

舟形町防災無線で放送した内容を登録制メールとTwitter、電話で確認できます。Twitterの場合は「防災ふながた」(funagata_bousai)をフォローしてください。

配信内容：「行政情報」・「防災気象情報」・「鳥獣被害情報」・「火災情報」

● PC・スマートフォンの場合

<https://plus.sugumail.com/usr/funagata/home>



● フィーチャーフォン(ガラケー)の場合

<https://m.sugumail.com/m/funagata/home>



## エリアメール・緊急速報メール

NTTドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話をお持ちの方へ、町が発信する限定的な情報を強制的にメール通知します。

## 広報車・消防団の広報巡回

町の広報車、消防団からの広報巡回により、情報を提供します。

## インターネットやSNSを利用したリアルタイム情報

内閣府「防災情報システム」  
<https://bousai-system.go.jp/index.jsp>



気象庁  
<https://www.jma.go.jp/jma/>



山形県河川・砂防情報システム  
<http://www.kasen.pref.yamagata.jp/>



山形地方气象台  
<https://www.jma-net.go.jp/yamagata/>



山形県「こちら防災やまがた!」  
<https://www.pref.yamagata.jp/bosai/>



舟形町ホームページ  
<http://www.town.funagata.yamagata.jp/>



山形県土砂災害警戒システム  
<https://sabo.pref.yamagata.jp/>



防災ふながた  
[https://twitter.com/funagata_bousai](https://twitter.com/funagata_bousai)



※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です